



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和2年11月10日

＜事務局＞ 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

川上部会研修会（GPSとGISの連携の実践）開催

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、業界内のスキルアップを目的とした研修会として「GPSとGISの連携の実践」を開催しました。

- 日時 令和2年11月6日（金）10:00～14:30
- 場所 午前 釧路町別保私有林
午後 釧路工業技術センター2F会議室

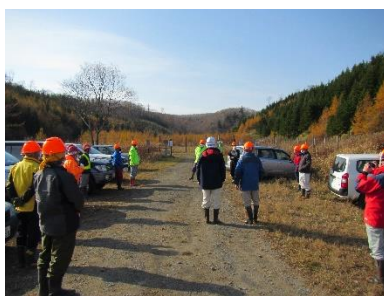
【実施内容】

くしろ木づなプロジェクトでは低コストで効率的な施業の推進の一環として、業界内のスキルアップの研修会を開催しています。今回は、今後重要な取組と見込まれるスマート林業への対応に向けた入口として、GPSとGISの連携作業の実践を行いました。

釧路総合振興局森林室音別事務所の大橋徹也主査に講師を依頼し、午前中は、釧路町別保の私有林にて、ハンディGPSを用いて測点登録を行いました。

午後は、釧路工業技術センターにて、QGISのフリーソフトに等高線などの地図データや林小班データなどを反映させ、その上に午前中に登録したGPSの測点を取り込み表示させる作業を行いました。参加者からは難しかったという声がある一方で、参考になり今回の続きも期待する声がありました。

今後ともくしろ木づなプロジェクトでは、森林施業の効率化や低コスト化に向けた取組を引き続き行って参ります。



＜釧路森林資源活用円卓会議＞

釧路市は、2005年（平成17年）の3市町合併により、森林面積は約10万ha（全道の市で1位）。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年（平成22年）11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部農林課
（担当） 神成 大輔
TEL：0154-31-2552
FAX：0154-31-2553

「商品企画研究会」の活動について

1 研究会目的

「くしろ木づなプロジェクト」の一環として、カラマツ等の地域材を活用した木製品を開発するため、釧路森林資源活用円卓会議を構成する木工・設計事務所・製材工場などの若手職人や社員がアイデアを出し合いながら、新たな木製品の試作や評価・検証を行い、地域材の一層の活用促進を図るとともに、試作した木製品の商品化を目指す。最終的には域外にも売れるような商品開発を目標とする。

2 メンバー

・玉垣木工(株)	田中大地氏
・得地ファニチャ工業(株)	鈴木良平氏
・(株)長谷川建築設計事務所	本間愛理氏
・丸善木材(株)	鈴木憲太郎氏
・熊の家藤戸	藤戸康平氏
・釧路市ビジネスサポートセンター	五十部有紀氏 (R2 第5回から)
・釧路工業技術センター	瀧本文一氏 (アドバイザー)
・釧路市産業振興部	田戸岡尚樹・神成大輔 (事務局)

3 主な活動内容

異業種の視点・若手の視点からアイデアを発掘し、試作製品を検討する。外部アドバイザーの招聘や展示会への出展などを通じた磨き上げを行う。

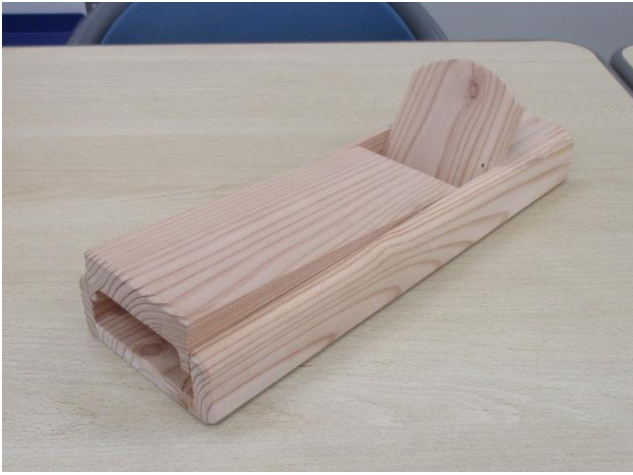
- ・開発ミーティング・試作・評価
- ・外部アドバイザーによるアドバイス
- ・展示会への出展、テスト販売

4 開催状況

R2 第1回	R2.8.5	自己紹介、工業技術センターの設備紹介、製品テーマのディスカッション
第2回	R2.10.20	アイデア発掘シートまとめ、ディスカッション
第3回	R2.11.18	ディスカッション、試作品の振り分け
第4回	R2.12.16	試作品の紹介・検討
第5回	R3.2.17	試作品の検討
R3 第1回	R3.4.14	試作品・ノベルティ・出展の検討、R3の取組

5 実績

R2.12.22	北海道新聞（釧路地方欄及びWEB）掲載
R3.2.2	NHK 札幌放送局「ほっとニュース北海道」中継コーナー出演（カンナ型スマホスピーカー）
R3.4.7	釧路市内 22 か所の児童館・児童センター・放課後児童クラブ及び児童発達支援センターにカラクシーを配布



カンナ型スマホスピーカー



釧路版 Fastrack (名称未定)



ソロキャンプ用折り畳みテーブル



丸太トーチ



ドアサイン (ノベルティ)



←ランタンスタンド



カラクシー→



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和3年4月8日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyouu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

釧路市内の児童館・児童センター・放課後児童クラブへ「カラクシー」を配布

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、「商品企画研究会」で開発した「カラクシー」を釧路市内の児童館・児童センター・放課後児童クラブ（計22箇所）へ配布しました。

■場所 釧路市内の各児童館・児童センター・放課後児童クラブ

【実施内容】

くしろ木づなプロジェクトでは令和2年度から「商品企画研究会」を設置し、様々な木製品の開発を進めています。その開発中の木製品のひとつである「カラクシー」は、1～10までの数字が書かれたハンドサイズの木柱を並べ、大またで5歩離れた場所から同じサイズの木柱を投げ、倒れた木柱の点数の合計を競うゲームです。5～10フレーム繰り返しますが、倒れた木柱は遠い方に起こすこととしており、フレームを経るほど木柱が遠く広がっていきます。そのため、遠くの高得点を狙うか、近くの低得点を狙うかといった戦略も重要になってきます。木柱を投げるという単純な動作であることから、子供から大人まで楽しむことができます。

「カラクシー」という名称は、カマツの「カラ」と釧路の「クシ」を組み合わせ、木柱が広がっていく様子をギャラクシーにも見立てて名付けました。

このたび、釧路市内の児童館・児童センター・放課後児童クラブへ「カラクシー」を配布し、実際に子供たち等に楽しんでもらうことで、釧路のカマツに親しんでもらうとともに、商品化に向けた改良に取り組んでいきたいと考えています。

くしろ木づなプロジェクトでは、生活の中で地域材がもっと活用されていくように、今後もこのような取組を引き続き進めていきたいと考えています。



専用箱はトドマツで作りました



遊び方のイメージです

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。
「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。
これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

(担当) 田戸岡 尚樹

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和2年11月5日

＜事務局＞ 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyoutu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

釧路市こども遊学館で大人向けの木工教室を開催

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、釧路市こども遊学館と協力し「おとなのための木工 ～ミニツール作り～」を開催しました。

■日時 令和2年11月5日（木）10:00～12:00

■場所 釧路市こども遊学館（釧路市幸町10丁目2）

【実施内容】

一般的には木育教室と言えば子ども向けのものが多いと思いますが、くしろ木づなプロジェクトでは平成29年度に初めて開催して以来、毎年大人向けの木育教室を実施しています。今年も釧路市こども遊学館の協力を受け、託児付きで募集したこともあり、募集開始日の翌日には定員が埋まるほどの人気ぶりでした。今回はコロナウイルス感染拡大防止のため、1テーブル1名としました。

開催当日は7名の方に御参加いただきました。釧路市の森林や、林業・木材産業の概要や、森林資源の循環利用について説明した後、「ミニツール」の作成に取り掛かりました。ヤスリ掛け→ネジ止め→穴あけ→釘打ちの各工程を経て、1時間半ほどの作業で完成しました。参加者のみなさんには、普段はなかなかできない工作ができたことに、とても満足していただきました。

今年度は1月17日（日）に親子向けの木工教室を予定しています（12月24日から釧路市こども遊学館HPで受付開始）。くしろ木づなプロジェクトでは、生活の中で地域材がもっと活用されていくように、このような取組を引き続き進めていきたいと考えています。



＜釧路森林資源活用円卓会議＞

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha（全道の市で1位）。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

（担当） 田戸岡 尚樹

TEL：0154-31-4550

FAX：0154-22-8972



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和3年1月18日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyouu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

釧路市子ども遊学館で親子向けの木工教室を開催

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、釧路市子ども遊学館と協力し「親子で楽しむ木工～マルチスタンド作り」を開催しました。

- 日時 令和3年1月17日(日) 10:00～12:00
- 場所 釧路市子ども遊学館(釧路市幸町10丁目2)

【実施内容】

くしろ木づなプロジェクトでは釧路市子ども遊学館と協力し、毎年木工教室を開催しています。今年度は11月に大人向けとして開催しましたが、今回は親子向けとして小学生以上の子どもと保護者を対象として開催しました。今回もコロナウイルス感染拡大防止のため、1テーブル1組としました。

開催当日は16名の方に御参加いただきました。最初に釧路市の森林がどれくらいあり、どんな木があるのかという話と、森林資源の循環利用の大切さについての簡単な授業をした後、「マルチスタンド」の作成に取り掛かりました。本番に入る前に、釘打ちのここの挽きの練習をしてから、まずは小箱4つを作りました。ボンドを塗って釘打ちしましたが、小さい材だったので難しく、大きく割れてしまったり、釘が突き抜けてしまったりしてしまいました。予備材料でまたチャレンジしてもらいましたが、ちょっと難しかったかもしれません。次にトレイを作るため、枠材をのこぎりで切り落とす作業をしました。こちらはみなさんしっかりと切り落とすことができました。トレイも組み上げて、紙ヤスリで仕上げして、全員無事に時間内に完成しました。参加者の皆さんは、普段はあまりやらない工作体験を楽しんでいました。

くしろ木づなプロジェクトでは、生活の中で地域材がもっと活用されていくように、今後もコロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、このような取組を引き続き進めていきたいと考えています。



<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。
「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

(担当) 田戸岡 尚樹

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972

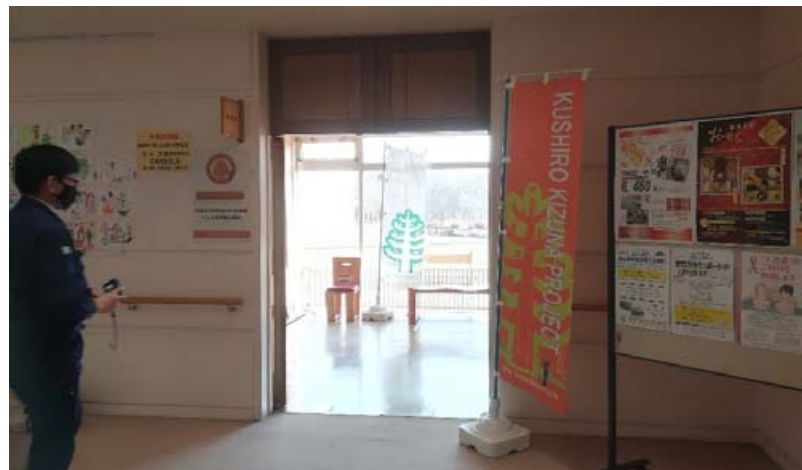
山花温泉リフレ木づなプロジェクト展示スペースについて

1 概要

「くしろ木づなプロジェクト」の活動内容や、釧路森林資源活用円卓会議構成企業・団体が製作した木製品を展示するスペースとして、釧路市農村都市交流センター（山花温泉リフレ）の空き部屋を提供していただき、令和2年12月25日から展示を開始しました。

2 展示製品

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| 得地ファニチャ工業(株) | 「カラマツ×エゾシカ革ソファ」「波型ベンチ」
「イーゼル」 |
| 釧路家具建具生産協同組合 | 「木の賞状」「カラマツ製学校机・椅子」 |
| 札鶴ベニヤ(株) | 「カラマツ製フローリング」「木のカレンダー」 |
| 丸善木材(株) | 「カラマツチェア」「ウェーブベンチ」 |
| エステー(株)・(株)北都 | 「クリアフォレスト製品」 |
| 釧路観光工芸 | 「カラ箱」 |
| (有)熊の家藤戸 | 「魚箱」 |





JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2020

ウッドデザイン賞 2020

下記の作品は、消費者目線での新たな木づかいを促進する
ウッドデザイン賞に入賞いたしましたので、これを表彰します。

ソーシャルデザイン部門
くしろ木づなフェスティバル2019
川勝森林資源活用円卓会議

2020年11月30日

ウッドデザイン賞運営事務局

